

整備計画委員会から提言書

基本理念 「でかけよう ことばの海へ 知の森へ」

新しい一関図書館の整備については、市民20人で構成する新一関図書館整備計画委員会(佐藤 暁 委員長)で協議と検討が進められています。9回の委員会と2度にわたる視察を経て、基本構想案、基本計画案と候補地案を8月30日に佐藤委員長が教育委員会へ提言を行いました。

第9回委員会には、委員ら約30人が出席。佐藤委員長は、「これまで多くのご意見をいただき、それぞれの立場や見識から図書館にかける熱い思いを感じている。我が市の知的水準の一つの象徴として立派な図書館ができることがとても楽しみである」とあいさつ。協議終了後に鈴木功教育委員長に提言書を手渡しました。



提言書を手渡す佐藤委員長(右)

由にとつて見る開架スペースが狭いことから、図書館で持つている本の3分の1程度しか置けず、ゆっくりと座って読むことのできるイスも置くことができません。

設計の段階で検討しますが、開架スペースには、子どもが楽しめるスペース、視聴覚ブース、ゆっくりと新聞や雑誌が読めるコーナーなども設置する予定です。

また、昭和47年の開館で老朽化が進み、階段や段差など特に高齢者や幼児などにとつて使いにくい状況にあるなど、大規模な改善が求められています。

さらに現在の敷地の一部が、磐井川堤防改修事業に伴う堤防用地の対象となっており、一関市街地の安全性を確保するためにも早期に移転する必要があります。

さらに現在の敷地の一部が、磐井川堤防改修事業に伴う堤防用地の対象となっており、一関市街地の安全性を確保するためにも早期に移転する必要があります。

どんな図書館になるの？

新一関図書館の想定される規模	
延べ床面積	およそ4300~4500㎡
蔵書能力	およそ50万冊
座席数 (開架スペース)	およそ260席
事業費	およそ17~18億円 (用地費を除く)

どうして新しく作るの？

現在の一関図書館は、本を自

施設の規模やサービスなども計画委員会から提言をいただいています。

計画委員会からは、新しい図書館の機能やサービスが十分に

どこに建てるの？

主なスケジュール	
平成22年度	整備基本構想・基本計画の策定 用地決定、基本設計
平成23年度	実施設計
平成24年度から平成26年度	建築工事、開館、現施設の解体

いつできるの？

磐井川堤防改修事業に支障が出ないよう、平成26年中の開館を目指し準備を進めます。

果たせることを第一に考え、市のまちづくりの方針に沿った配置も念頭に置いて検討を進めた結果、候補地を磐井病院跡地(山目字前田地内)と現在の一関文化センター体育館敷地(大手町地内)の2カ所とする提言がありました。

市では、この提言を尊重しつつ、市民の皆さんや議会などからご意見をいただきながら、最終的な候補地を決定する予定です。

市では、最終的な候補地を決定するため、市民の皆さんから候補地選定に関する意見を募集しています。

分庁舎、各支所、各図書館に計画委員会から提言のあった候補地案と募集用紙を備え付けるほか、ホームページにもこれまでの検討状況と併せて掲載しています。

【意見の募集期間】9月24日(金)まで 【問い合わせ・送付先】生涯学習文化課 住所 一関市赤荻字清水33 ☎06594/FAX06580 E-Mail shogai@city.ichinoseki.iwate.jp



立地企業

株タイセイプラスが立地

市は8月24日、株タイセイプラス(株)本社愛知県清須市、後藤登志雄代表取締役と立地協定の調印を行いました。

協定調印後、勝部市長は、「心より歓迎する。県内に自動車関連産業の集積が進む中、一関を選んできたがうれしく思う。今後、事業がグローバルに展開し、大きく飛躍することに期待したい。中東北の拠点を目指す中で実現した今回の立地協定締結であり、ぜひ地域に根差した

企業になってもらいたい。市としても、県と連携し、十分バックアップしていきたい」とあいさつ。後藤代表取締役は、「物流コスト削減のため宮城、岩手の県境で立地場所を探していた。一関市は関東自動車工業岩手工場(金ヶ崎町)とセントラル自動車(宮城県大衡村)の中間地点。場所的にも、工場の規模的にも適当で立地を決めた。市、県の皆さんにご協力いただきながら、この地に根を張れるようがんばっていきたい」と決意を語りました。

語りました。

同社は、自動車用空調ダクトやハイブリッド車用冷却ダクト、スポイラーなどを製造しています。今回、東山町の敷地面積2996平方メートル、延べ床面積811平方メートルの遊休工場を活用し、東北工場として9月に本格稼働する予定です。従業員は当初5人を地元採用し、2年後には26人体制へと拡大が見込まれています。



立地協定に調印後握手を交わす(左から)宮館副知事、後藤代表取締役、勝部市長、菅原市議会議員

農業委員会と教育委員会が移転

事務室の配置

現在分庁舎として利用している県立一関二高清水校舎を県教育委員会に返還することに伴い、10月25日㊦から農業委員会事務局が本庁舎に、教育委員会事務局が本庁舎と一関地区合同庁舎に移動し、業務を行います。これらの事務所の移動に伴って、本庁舎の事務室の配置を次のように変更します。

監査委員事務局と一関市・藤沢町合併協議会事務局は9月27日㊧から、他の課等は10月12日㊨から移動先で業務を行います。

◆問い合わせ先…財政課管財係

【移動前】		
施設名	課等名	
本庁舎	5階	総務課 財政課 骨寺荘園室 選挙管理委員会事務局
	3階	企画調整課 協働推進課 一関市・藤沢町合併協議会事務局
	2階	監査委員事務局
分庁舎	農業委員会事務局	
	教育委員会事務局	
	▷教育総務課	
	▷学校教育課	
	▷生涯学習文化課 ▷体育課	

【移動後】			
施設名	課等名		移動日
本庁舎	5階	骨寺荘園室(5階内移動)	10月12日
		監査委員会事務局	9月27日
		農業委員会事務局 教育委員会事務局 ▷教育総務課 ▷学校教育課	10月25日
一関地区合同庁舎	3階	企画調整課(3階内移動) 協働推進課(3階内移動)	10月4日
		総務課 選挙管理委員会事務局	10月12日
一関地区合同庁舎	2階	財政課 一関市・藤沢町合併協議会事務局	9月27日
		教育委員会事務局 ▷生涯学習文化課 ▷体育課	10月25日